

第46回 町長定例記者会見

- 開催日時 令和6年12月6日（金）午後3時00分～
- 開催場所 遠軽町役場3階大会議室
- 記者数 4人

報道機関の皆様におかれましては、日頃より町政など地域の情報を町民にお届けいただき、心からお礼申し上げます。

それでは、今回の議題についてご説明申し上げます。

1 遠軽町公共施設の見直しについて

今、公共施設の具体的な方向性を明確にし、抜本的な見直しを進めるため、町内の企業経営者、公募などで募りました委員で組織する遠軽町行政改革推進委員会において意見をまとめ、遠軽町公共施設の見直し方針をこのたび策定したところであります。

この行政改革については、遠軽町も合併して来年で20年ということであり、この遠軽町が合併前の厳しい、存続できないような状況にさせないということで行政改革の組織を作っているところであり、この中でやはり公共施設の見直しというのは避けては通れないものであります。

全国で、合併しない町もした町も、各自治体がいろいろな策を行っているところですが、財政状況がバラバラです。今は特に、ふるさと納税で極端に潤っているところもありますし、非常に厳しい財政状況に陥っているところもありますから、そういうものは見直していかなければならないということでもあります。その中で、遠軽町は財政面だけで合併したわけではなくて、合併しなかったらどうなるかということ合併前に考え、住民が最終的に合意して合併するしかないとなったものであります。

もう一つは、財政面だけではなく、人口減少も合併したから減ったのか、ということも検証する必要があります。遠軽町は財政の数字よりも人口推計を最初にどう読むかで合併の計画を作り、財政計画などに当てはめていきました。ソフト面では教育や福祉など、ハード面ではいろいろな施設、道路や水道などです。そのような経過がありますので、これは一概に合併して良かった、悪かったというのは、やはりさまざまなケースがあるということ念頭に置いて議論しなければならない話であります。

その中で遠軽町は、合併した中今までも大きな改革を行い、今何とか盛り返してさまざまな事業をやってきました。合併の優遇策だけでなく、職員数や町議員数の削減など、新遠軽町はやってきて今に至っておりますので、これからも継続するとともに、今回行政改革の中で重点的に公共施設の見直しをしていくものであります。

2 遠軽高等学校下宿の整備状況について

遠軽高校の下宿は、ここ数年、町外者の遠軽高校の入学者が年々増加していることに伴い不足しておりました。来年4月から通学する生徒数を考慮するとどうしても不足するというので、急遽下宿を整備するとしてわけであります。それに対しまして、遠軽町出身の長谷川芳博様から寄附をいただきました。2億4千万円を寄附していただき、そのお金によって26名収容を想定している寮を今建設中であり、4月から入居する予定であります。延べ床面積は684.15㎡の木造2階建てで、26室の個室のほか、共有の食堂、図書・団らんスペース、シャワーブース、トイレ、洗濯コーナーなど生徒が快適に過ごすための必要な機能を備えているところでございます。名前は「優良（ゆら）ハウス」とし、これは寄附いただきました長谷川様をお願いして命名していただいたということでございます。

長谷川様からの寄附を、町を通して「北海道遠軽高等学校下宿を支援する会」で建設、運営をしていただきますので、会の皆様のご協力にも感謝申し上げます。

遠軽高校の寮についてはこれで町がお金を出して作ったのは4棟目になります。これは全て町の直営という形は取らず、町は建設費を支出するという形となります。

遠軽高校を維持していくためには必要な経費であり、下宿生120人近くが町にいることは、遠軽高校5間口の維持のほか、人口増による交付税の増加や衣食住など経済効果も非常に大きく、町の活性化にもつながることだと思います。

オホーツクの半分を占める遠軽紋別地方の日本に対する役割、一次産業を中心とする役割を果たすために高校は無くしてはなりません。また、子どもたちが夢を叶えられる規模の高校が無くしてはならないということから、この下宿を建設するということでもあります。

3 第39回湧別原野オホーツククロスカントリースキー大会について

残念ながら昨年は全コースで開催することはできませんでしたが、今年で39回目、あと1回で40回になりますが、開催する準備をしているところであります。国内最長の80キロ、それから小さなお子様でも参加が可能な5キロまでの個人6種目と、95キロのスキー駅伝の合計7コースを整備し、2月23日に開催いたします。申込期間は、12月2日から年明け1月10日になりますので、多くの皆様方のご参加をお待ちしております。

4 遠軽町埋蔵文化財センター冬季開館について

国宝を展示しております遠軽町埋蔵文化財センターは、これまで11月から3月までの冬季間、土日祝日は休館しておりましたが、国宝になり皆様方に見ていただくために年末年始を除き冬季開館いたします。

期間は、12月28日から3月30日までの土日祝日で、12月31日から1月5日までの年末年始は除きます。なお開館時間は、午前10時から午後4時までであります。

埋蔵文化財センターだけでなく、1階の白滝ジオパーク交流センター展示室もあわせて開館いたしますので、皆様方のご来場をお待ちしております。

5 第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会パブリックビューイングについて

遠軽高等学校ラグビー部が、12月27日から開催される「第104回全国高等学校ラグビーフットボール大会」に2年連続12度目の出場をいたします。全道大会の決勝は本当に厳しい試合でありました。選手の常日頃の努力が引き寄せた花園出場だと思っております。これに町を挙げて応援するために、遠軽町芸術文化交流プラザ大ホールにて遠軽ラグビー協会、遠軽町、遠軽町教育委員会の共催によりパブリックビューイングを開催いたします。

組み合わせ抽選会は明日12月7日に実施されますので、試合日程が決まり次第、町ホームページなどで日時を周知いたします。入場料は無料であります。

先日遠軽高校の吹奏楽局がラグビー部を応援しようと同プラザ大ホールで壮行会を実施しました。このように遠軽町が一体となるようなイベントは、合併してから初めてではないかという程の大きな反響がありました。私も感激したところがありまして、先ほど遠軽高校の下宿の件と合わせて、遠軽高校の若者たちの効果が随所に出てきているのではないかと考えております。